

平成 22 年度 第 2 回帯広市男女共同参画推進市民会議 会議録要旨

- 開催日時 平成 22 年 11 月 5 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時
- 開催場所 帯広市役所 10 階 第 2 会議室
- 出席者 【委員】岡庭委員、中田委員、朝日委員、阿部委員、笹岡委員、高宮委員、
長縄委員、仁井委員、野村委員、森下委員、山中委員
【事務局】井上市民活動部長、原企画調整監、川田男女共同参画推進課長、高橋課長補佐
山崎主任補、青木専門員

■議題

- (1) 前回会議録要旨確認
- (2) 「おびひろ男女共同参画プラン」における重点施策の選考について
- (3) その他（意見交換等）

■配布資料

- 資料 1 平成 22 年度 重点事項意見一覧
- 資料 2 平成 22 年度 重点事項選考理由一覧
- 資料 3 おびひろ男女共同参画プラン体系 重点事項内容一覧
- 資料 4 おびひろ男女共同参画プランの推進体系

■議事

開会

司会 本日はお忙しいところ、ご出席をいただきまして、まことに有り難うございます。只今より、第 2 回帯広市男女共同参画推進市民会議を開催いたします。議事進行につきましては男女共同参画推進市民会議設置要綱第 6 条により会長が議長を務める事になっておりますので D 会長よろしく申し上げます。

D 会長 話の内容も段々濃いものになっていくと思いますが、それぞれ皆様の意見、ご経験等含めましてお話頂けますようお願いいたします。それでは前回ご出席出来なかった委員の方から自己紹介を兼ねて一言いただきたいと思います。 P 副会長からお願いいたします。

P 副会長 帯広市でつくった二次プランを推進するためにはどのように進めたらいいのか、ということこの会議がつくられたとっておりますが、公募の方を含めて各会の色々な分野から委員の方がいらしてます。私は婦人団体に所属をしておりますが道や全国にも繋がり、この分野では道のプランの作成にも関わっておりますが、10 年経っても中々進行しないのが現状であります。帯広の場合は「たねっと」等活動している団体がありますのでそちらから啓発等による推進をしていただくことは大事なことです。また、皆さんの意見も聞きながら勉強させていただきたいと思います。

D 会長 続きまして N 委員お願いいたします。

N委員 私の周りには男女の差別はなかったところを通して来ましたので、推進会議ではどのようなことをするのか勉強に参りました。色々教えて頂くことがあると思いますがよろしくお願い致します。

O委員 みなさん、こんにちは。前回の会議には欠席してしまい申し訳ありませんでした。農協より推薦されました女性部のOです。農業は男女平等からはまだまだ遅れておりますので、いろいろ勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

D会長 それでは議事に入ります。 本日の市民会議は委員 19 名中、出席委員 11 名ですので会議として成立していることを報告します。それでは次第に従いまして議事を進行します。
まず初めに議題 1 の前回会議録要旨の確認を行います。事務局お願いします。

事務局 【前回の会議要旨について説明】

D会長 事務局から説明ありました会議録要旨につきまして発言内容等について何かありますか。

B委員 内容はいいのですが他の会議では、会議の前に送られています。前回欠席しても読んで来ればわかるので出来たら会の前に送ってもらいたい。自分の主旨と違っていたら訂正をお願いしますという事でしょうが、そういうことがあってもここで改めて説明するのは時間ももったいない。

D会長 他に何かありますか。なければ、会議録要旨につきましてはこの様な形で確認ということでよろしくお願い致します。それでは続きまして議題の 2、重点施策の選考に入りますが、資料の説明を事務局からお願いします。

事務局 中身の説明に入る前に、本日の会議で重点施策について議論をいただくところですが、それを受けて市ではどのように進めていくか、事前に説明させていただきます。本日皆さまから出された意見につきましては今後、市の内部で開催していきます男女共同参画の委員会、市民会議の委員の皆さまから出ました意見は市民目線、各団体からの意見ということで説明をしていくと考えています。庁内の関係部課におきましては市民会議での意見を踏まえた上で既存の事業の取り組みの工夫、新たな事業展開といったものに進めていきたいと考えています。帯広市は現在予算の編成作業中で 10 日が締切りという段階です。本来ならもっと早い段階から取り組みを進めていく考えでしたが、スタートも遅くなり新年度に今回の意見がそのまま反映出来るのは厳しいと思っておりますが予算があってもなくても工夫で取り組める部分も十分ありますので、そういったことを含めて市の施策に反映する取り組みに、今日の会議の中身を繋げていきたいと考えていますのでご理解願います。

事務局 【資料 1～4 の説明】

D会長 只今の説明につきまして何かご意見、ご質問ありませんか。時間が限られていますので、

選定された重点事項の理由等につきましての考えと男女共同参画への捉え方、進め方等につきまして併せてお聞かせ下さい。簡潔にお話いただき、その後でご質問等を受けたいと思います。それではお手元の資料1をご覧いただき、複数の委員の方が選んでおります施策の方向についてご意見を伺いたいと思います。

D会長 まず、表の1-1 家庭における男女平等教育の推進を6名の方が選考されています。
 選考理由について、I委員に伺います。

I委員 日本という国は上から与えられる歴史が続き、自分たちで権利を勝ち取った歴史が無い。人権等は西洋からも遅れていて国際社会に出た時他の国からも指摘され、ちょっと不思議だなと見られる事が多いのではないかと。リーダーに男女はないので子どもたちにもすすんで日本国中覆っている問題を除去していかねばならないという事です。

D会長 他のご意見も伺ってから、皆さんのお話も聞きたいと思います。それでは4人の委員が選ばれている1-4-(1)女性への暴力根絶についての認識の浸透についてJ委員にお伺いします。

J委員 (2)学校における男女平等教育の推進とつながるのですがまず、暴力自体、これは男性、女性関係なく意識の改革ということです。今、目の前にある問題を解決、改善するという事も大事ですが10年、20年先にどうしたら住みやすい街になっているかという所まで平行して見つめていかないと考えた時、せっかくなら「帯広市は暴力根絶都市です」というように大々的に持っていくと賛同も多いと考えています。女性に対するあらゆる暴力の根絶というのは専門活動が必要なので、家庭、学校の中から活動していかねばならない。市民がとてつもなく遠くつかめない大きな目標ではなく、一人一人が気づいたら暴力が少なくなっていたという形になっていけばよいと思いました。

D会長 大事な発言です、有り難うございました。また、ご意見等伺いするとして続きまして3-1-(2) 育児支援体制の充実ということで、5人の委員が選んでおります。

B委員 その前に22年度の重点目標をあげよ、と云うのが理解出来なかった。何故かという、22年度はもう終わって予算もないので、予算を伴わない事だけ挙げたのです、別の事あげたかったけど。働く為の育児支援、帯広市は待機児童については全国的にいわれるほど多くないと思う。保育所もかなり充実していて、病児保育、延長保育もやっています。今から数年前まで公立の保育所は延長保育はやっていなかったが、段々改善されて良くなっています。女の人が働かないで専業主婦でやっていける時代が終焉を迎えているということは現実なので、その中で女性に限らず働く人たちが子育てをしながら働ける環境整備をといったとき、保育所整備をすればいいということではないと思います。

 また一方で、企業の育児支援というものが企業側の問題として様々に複雑にあるということ抜きには出来ないということです。推進員で企業の育児支援について取材したことがあるが就業規則には育児休暇、産前休暇がちゃんと謳われてはいるが、現実には会社経営上コ

ストの問題で出来ないという地元企業が多い。それに対して帯広市は独自に手を打つところが薄いと思います。子育て応援事業所をPRするために情報誌で特集を組みましたが、現実には厳しいので何とかならないかなと感じました。例えば市の入札をする場合、就業規則を作って実施している企業に対して点数を加算するとか、具体的な方法をとらない限り無理だと思います。個人的には減税かと思いますが、条例の問題とかあって簡単に出来る問題ではないけれど全庁的に取り組んで育児休暇をきちんと取らせている会社には優遇策みたいなものをやらない限り難しいです。帯広の中島薬局にインタビューに行った時、薬剤師以外の事務職も全部育児休暇を取らせていました。理由を聞いたところ人材確保だということでこれは、この問題の一番の確信を得ていると思います。企業は簡単に休ませて有給という訳にはいかないのです、有給ではなくても現場復帰出来るという保証がないとなかなか難しい。事業所として、取り組めばこういういいことがあるということをしていただければ、保育所の定員を増やしたというだけでは改善されない状況だと思う。市役所全体で連携して何が出来るか、具体的に踏みこんだ手だてをしてほしいと挙げました。

D 会長 市の取り組みについてのお話でしたが、後ほど市としてのお話を伺います。続きまして3-3-(2)、「雇用機会の情報収集・提供について」L委員をお願いします。

L 委員 私は前回の会議でも話しましたが男女雇用機会均等法により女性ドライバーの拡大をしようとしても女性という募集をすることが出来ないという切実な問題があり、せっかく女性ドライバーを募集したいが反対に機会を少なくしているのではないかとということで、表現や方法についてどうしていくべきか取り上げてもらいたいという考えから出しました。事業者の中には女性の特性を最大限に活かして仕事に就いてもらいたいと考えている事業者も増えているので事業者、経済界全体の課題でもあると考えます。

P 副会長 逆に、男性しか採らないのに、男性とは書いてないから面接を踏んで無駄足を踏む女性が非常に多い。頭から採らないとは言えないので面接もするが不利益を被る。雇用の面に関しては早くからそれを不平等という意見が多いがなかなか改善されない。いらぬ人まで参加させる必要はないですが今それをするとな男女の差をつけたということになる。

L 委員 当社では男性、女性ドライバー共にという事で募集しています。女性も求めているということをお話ししようとしています。

P 副会長 実現しているから、続くと思います。これは厚労省の問題なので役所の力で推すか、別の形で改正していただけるように。

B 委員 例外規程はないですか。

L 委員 問い合わせでもダメですね。勉強不足もあるかもしれませんが。

M 委員 年齢も含めてないようです、ただ、仕事を紹介する時に、例えば女性を雇用しようとして

男性が応募した時には確認して実際にはそこまでいきません。

P副会長

ハローワークに行くそうです。

B委員

そういうことがあるので、Lさんのところ取材しました。女性ドライバーを採用しているということを宣伝する方法がないので、情報誌に載せたほうが良いという事で取材したのですが、遅々として進まない感じはするけれど15年前から見ると変わりましたね。遅いようでも地道にやる事と思います。若い方は特に。

L委員

ことある毎に理由をつけて、マスコミに載せてもらおうと努力したり、女性の集まる場で聞いてみると、トラックやタクシーは女性でも乗れるけどバスは法的に乗れないと思っている人が非常に多い、この解釈が意外でした。

B委員

女性ドライバーの良い理由など伺って最もだと思いましたが。

D会長

続きまして、3-3-(3)女性の再チャレンジ支援についてH委員お願いします。

H委員

私の周りには出産を機に会社を辞めざるを得なくなり、新たに仕事を探そうとして保育所に預ける時には「仕事が決まってないから」、仕事先では「子供を預ける所が決まってない」ということでどうしようもないという話を聞きました。働かなければならないのに働けない。実際出産とか、就活の話をするとう児休暇制度すらない会社が多い。待機児童の話がありました。待機にさえ入れない児童が大勢いるんじゃないか、そういうことも含めて仕事先をどう選んでいくか、何か気づかせてあげられる事はないか、そういうところから選びました。

D会長

続いて、4-1-(1)保健相談や指導体制の充実。O委員からお話を伺いたいと思います。

O委員

皆さんのお話を聞いていると、次元が違う気がしてここにいるのが恥ずかしいのですが、私は今、農業をしております。こういうことが遅れております。自分が一番わかる事を選びました。私は3世代同居があたりまえで仕事をする時は子どもをみてもらったり、わからないこととおじいちゃんやお母さんに聞いて、大変だったけど子どもにとっては良い環境だったと思います。今は核家族が進んで、相談する人やお友達がなくて苦労してノイローゼになったり、別れてしまう人もいますので保健相談や指導体制を充実したら子どもがすくすく育っていいのではないかと。自分がお義母さんやおじいちゃんに教えてもらった事はとても良く、今の若いお母さんたちが苦労しているのをみたら、こういうことをもっと充実させPRして行って、「分からないことは聞いてね。」としていたらお父さんとお母さんが仲良くしていけるのではと思って選びました。

D会長

続きまして4-4-(1)学習機会や学習情報の提供につきまして選ばれた理由など、K

委員お願いします。

- K委員 目標2の方に書くべきだったと思うのですが、よろしいでしょうか。
2-1-(3) 農業経営活動への女性の参画支援、農業新聞読んでいますと、全国で直売所が盛り上がっていました。帯広市でもとかち村が出来るという事で地域の人たちで何を作ろうかと話し合いました。夢に描いていたのは高速道路入り口で加工施設を利用して、自分たちの作った物を地域の人がそれに値する値段で買いに来る直売所です。しかし、実態はそんな簡単なものではなく経費、輸送量が掛かりすぎます。
- P副会長 ご主人が財政を握っていて女性として自由になる資金が無く、身動きがとれないということですね。
- K委員 そんな予算はありません。
- B委員 女性部で話し合われてはどうか。
- K委員 忙しいから、これ以上大変な仕事は増やさなくていいといわれます。近所だけでかたまって何処で売ろうか、夢は膨らんだのですが。
- B委員 どこかに相談はしたのですか。どうしたらいいか、どう望んでいるのか。
- K委員 農協も協力してくれるが、加工施設も無いと出来ない。
- B委員 第六次の総合計画の時に農村地域には設備の整った加工場があるのでそれを利用して地場の製品を売って行けたらという意見が出ていました。
- P副会長 川西の研修センターには台所がついていますので出来るのでは。
- B委員 それをもっと活用して観光客に売ればいいという意見が出ましたが、そんな簡単にいくなら誰でもやっていると。何でもそうだけど、どこかですれ違う。やる気のある人がいて、やった方がいいと言う人もいるけれど結ぶ要がみつからない。
- K委員 リーダーの育成をしてくれるとうまくいく。
- B委員 そこがあるとスムーズに動いてひとり立ちする。新しく立ち上げるとダメ。
農村の問題は差別撤廃条約にわざわざ農村におけると書いてあるくらい地球的に農村の問題はあるのです。2～3年前にグラミン銀行を立ち上げてノーベル平和賞を受賞した人がいてそことユニクロがブッキングしてバン格拉ディシュに会社をつくった。そうしてくれる企業があっても、持ち出しが多いと出来ない。この辺が男女共同参画推進課で直接的には出来なくても農政課とつないで話しあってくれるといい。農村女性が経済的な自立を促していく

と、地元の人にもいいわけです。それをやるにはどうしたらいいか話題にしてもらうことが大事。共同参画と何の関係といわれるけど、こういう街にしたいという大きな目標があって、各セクションが何をやったのかということ。本来農村のあるべき姿は、女の問題というだけでなく、労働組合、農協も男社会、改めないといけない。農協の組合員で女性の役員がいる所は本当に少ない。ここで挙げられたことが市役所の中に浸透していった事務局で、力になって気配りが出来る。そういう話をした方が重点項目という立派なことをいうよりも良い。

D 会長 最後になりましたがP副会長から2-2-(5)防災分野における男女共同参画の推進を選考した理由をお願いします。

P副会長 何故かという、神戸震災の事を地元の女性たちから色々説明してもらった時、災害時にはプライバシーのなくなる状況が起こる、普段考えられないことが起こるから男女共同参画の防災の視点で訓練、設備をいれてもらった方がいいという風にいわれました。後から女性が組んで辛い思いをしながら改善したということで「水、お米、かんぱんは届いたけれど心の防災ということで男女共同参画は必要です。」と兵庫県の会長から何回も云われて確かに十勝は地震が多いですから他人事ではないと感じました。先日、男女共同参画セミナーで防災の講演会がありましたが、その中で自分が女性の市長だったから呼ばれたのでしょうという話しになりましたが、もっと男女共同参画の視点、女性の視点で話をしてほしかった。

D 会長 今のことで、何か。

I 委員 今のお話、本当に大事なことです。今、帯広は防災時の要援護者になるかどうか集めている初期の初期の段階です。今年も連合町内会で防災訓練をやりましたが、避難所で役員はどういう仕事をするのか、女性でなければ出来ない仕事もありそういう問題を市のほうで進めてほしい。

D 会長 私も提出が遅れましたので発言させていただきます。私は重点事項として1-2-(2)調査研究の充実、1-3-1 女性への暴力根絶についての認識の浸透、2-2-(4)国際交流・国際交流の促進3点挙げました。申し上げたいのは、1-2-(2)調査研究の充実、例えばワークライフバランスという言葉がそうですが、男女共同参画の世界は日々勉強が大事だなと感じさせられる場面が多々あります。新しい情報や新しい場面が沢山出て来ます。学生に男女共同参画について話すことがあります。同じことを言っていると大事なことで学生が聞いてくれなくて悲しくなる場面があります。そういう時、別の角度から別のテーマについて話していくと学生の世代も気づいて活かしてくれるので、自分の為でもあり充実させることが必要と考えて挙げました。

D 会長 では、重点事項を事前に事務局まで送らなかった委員の方のご意見を伺いたいと思います。A委員よろしく願い致します。

A 委員 私は1-1-(2)学校における男女共同教育の実現、1-2-(3)メディアにおける男女共同参画の推進、2-1-(2)方針決定過程における女性の参画の推進を選びました。

その中でメディアという点で帯広市ということを考えていくと難しいと思いますが、入札参加で取り上げてもらえると耳に入りやすく理解もしやすいということで意識改革に役立つと思い選びました。2-1-(2)方針決定過程における女性の参画推進という事でお話をさせていただくと1番の審議会頭への女性の参画の推進とどう違うのかなと理解出来なかったのですが、方針決定過程に参加するという事だからどちらでもいいのかなという感じでしょうか。私は60才になりますが60才までの間にあまり男だ女だと意識せずきています。それは自分が男で男社会の中にいるから気づかなかったのかなという気がします、女性議員も各委員会も少ない状況です。何%という目標ありましたね。40%ですか、(帯広はがんばっています)達成しているところは少ない気がしていましたので。そういう中で意思決定の段階から女性が関わっていけば男社会で男が発想してきたものは女性に対して不備な点が多い気がしますので女性にも沢山参加していただければと選びました。

D 会長 続きまして N 委員をお願いします。

N 委員 私は1-3-2母性の重要性の認識の浸透、社会の先輩として、子どもを育てる道を作ってあげなければならないと感じております。2-2-(5)防災のところは先程もお話ありましたように本当にそうだと思います。4-3安心できる介護環境の整備という事で支援体制で老人クラブでは友愛活動という事で独居老人の方々の所に伺い、声かけをして安否の確認と引き込んでいる事がないように訪問してお話したりしています。その中でも男性はお話をあまりしない方が多い。女性の方は待っていてくれて30分の予定が1時間も相手をするという事もあります。こういう活動を続けたいと思っている老人クラブですが、去年は10箇所くらい無くなっており、面倒、難しいという事で役員の成り手も無い状態です。もうひとつ帯広には色々なボランティア活動があります。100円を出してサロンのようなところがあり、皆さん楽しんでいていい事ですが、老人クラブは難しい、せつかくいいボランティア活動があるのに楽で楽しい所に集まりがちです。老人クラブが無くなっていく事を残念に思っています。両方良くするいい方法はないかと日頃考えております。

D 会長 それでは M 委員をお願いします。

M 委員 1-1-2学校における男女共同参画の推進。私はPTAの役員をしておりますが子供達に男女差のある教育はやってないが大きくなるにつれ出てくる差はなんだろうという事で、学校において男女共同参画の教育はしてほしいなど。家庭においてはどうだろう、昼間は仕事、夜は会議でほとんど家にいない。たまたま家にいる時は掃除から食事作りまで妻と同じように働いていると思っております。そういう風に思う事自体が実は差別なんじゃないか、と反省しました。やってやるという気持ちではダメであり、自分自身がそうなんだと反省したところです。地域においては、役員、男性よりも女性の方が出てくれますが美味しいとこ取りをしているのは男性じゃないか、そうするとこれは男女共同という意識からずれているのではないかと反省したところであり、たとえば防災分野で訓練に参加して弱者に対する目線を考えた時に男ではくみ上げられないところを女性の視点で見ればくみ上げることができるといことも感じました。したがって、長い目で子供から大人も含めたなかで継続して推進活動をやるべきだと思うところです。

- D 会長 これで全員からご意見いただきましたが、他にご意見ご質問等ありましたらお願いします。
- J 委員 今ここで話をして、選ばれていない項目には力を入れないということはないですか。
- 事務局 それは、ありません。それぞれ立場の違う皆さんが委員になっております。それぞれの立場から見てこう進めた方が良いというご意見をいただく。市役所から見た目と、皆さんから見るとは違うので色々な意見が出て、すでに動いている事業、新規の事業もありますので重点ではないのでやらないという事ではなく、こういう意見があるということを知りにも認識してほしいということで、この会議を開催しています。
- J 委員 委員の意見が多いところに重きをおきましょうという話し合いをもたれるのですか。
- 事務局 庁内で推進委員会がありますので、そちらに皆さんの意見を持っていき説明してもらおうという事です。
- J 委員 先程見せていただいた仕組み。それに対して半年、1年後この会議の中で議題になるのですか。
- 事務局 年度の話も出たのですが今年度は公募の関係もありスタートが遅れましたので基本的には今年度皆さんにいただいた意見を庁内関係課に伝えて、翌年度反映されてくると考えております。早いものは来年委員会を開催した時に、ここはすでに動いているとか、こうやっているという事を報告していきたいと考えています。
- J 委員 もうひとつ伺いたいのは評価の事で、内部だけなのかそれともこういう会議で私達も評価するのかどうか。
- 事務局 評価については第1回にはかりました形で自己評価をして、各課で持ったものを皆さんにご報告しますが、庁内の推進委員会を開きますのでその中で評価について意見がありましたと関係課に伝えて評価の改善に繋がりたいと考えています。
- D 会長 では、議題の(3)、その他の意見交換等に移らせていただいて、重点事項も含めてそれ以外、男女共同参画を進めて行くための皆さまのお考え、ご意見等伺いたいと思います。
- B 委員 外郭のご意見と、こういう風にやったらいいという意見と二通りありますが実際にやっていく場合具体的なものでないと予算の事もあるので、今年度はダメだけど来年はと要求することも考えて進めた方がいいと思います。例えば学校教育における男女共同参画平等教育の推進。推進委員でカスタネットの編集で教育委員会に取材に行った時、男女平等ってどんな事をやっていますか聞いたら、人権教育と書いてあるA4の簡単なペーパーをくれてこれですとされていますといわれた。実際男女共同参画に関わっての事ではなく当然学校でやる当たり前

の事しか書いてなかった。例えば基本方向1の2にDVのJさんの意見が載っていますが具体的な意見を皆で出して来年度に向けないとダメだと思う。男女平等やっていますかと聞くと、教育委員会はやっていますというけれど、何をやっていますかと聞くと何もわからない。Mさん「反省しています。」というけれど結局、私達は長年生きてきた物差しでものを見る習慣がついている。反省しているというのは高等な事で、そこまでいくプロセスが無いと。私個人が関わっている団体でデートDVの講習会を開催したところ、人が集まらない。中学校全体で4、000枚のビラを配ったけれど反応がない。父兄が無いのはしょうがないとして先生方に反応が無い。一番反応があるのは養護教諭です。DVと簡単に言うけれど、簡単に治らないのが実際の問題です。具体的にやるなら学校における男女平等教育のひとつとしてデートDVについて、3年生は一回必ずやるとした方が評価もしやすいし、市民もわかりやすく効果もあると思います。防災の問題がありましたが、今委員の中に教育長が女性だから入っていますが、委員に女性がいない。何故いないか、当て職だからいないのです。女性団体から入れるという発想が市にない、規約で決まっているので。何でも連動して抽象的に話すとさっぱり動かないから具体的に防災会議に女性を入れてくれということをも市民会議の意見として訴えて、そこで具体的に考えて動き出すまで推進課にってもらわなければならないと思う。だから具体的に今の重点項目を具体的なプランとして、事業として何をやるのか皆さんから言ってもらった方が市民の意見を考慮するというふうにもっていきやすい。たとえば、防災づくりに女性が必要ですというだけではなく、防災委員にも女性を複数入れなさいという意見があったと口火を切って具体的に意見を言うといいと思います。先程の農産物の事も、そういうふうに具体的に実現していく事と長縄さんもいったように大きな目標と両方回らないと。男女共同参画の評価のところでDVの相談件数を増やすとあるけれど、相談件数が増えるのはいい事なのか、それに対して対策をとる方が大事なので。大枠がくるっていると小さい事業が何のためかわからなくなるので暴力追放都市宣言みたいなものが大枠であってそれに向けていじめ、児童虐待を無くすとか女性に対する暴力を無くすという事をやってくると各課が一丸となってやっていける。大枠の目標と小さな事業の関連性を進めるようにすると良いと思います。

D 会長

男女共同参画の懇話会でも防災が当て職で女性の委員がいないのはどうなのかという意見が出ましたが、あの段階から進んでいないのは残念な話です。デートDVの話で中高生の話が出ますが大学生にも広げていくとなにかしら改善が現れてくると思います。

J 委員

デートDVの講座を開かなくても意識調査をしていただくといいと思います。学校でデートDVの講座を実施するのは難しいです。講座というのは古い時代に入ってきたのかと。今は企業でも家庭でも使える「アンガーマネジメント」という怒りをどうコントロールするかというのがあります。70～80年代から実施されてきたもので、アメリカでは犯罪者、DVを行った加害者に裁判所が強制プログラムで命令します。日本ではまだ出来ていないので、10年20年先の話だと思いますがどれも感情の問題が出てきたり、虐待もそうですし、いろいろな問題が絡むのでアンガーマネジメントを広げて行きたいと思っています。日本ではまだあまり知られていなくて、名古屋に本部があって今年は東京、大阪、名古屋でファシリテーターの講座があって行ってきました。10年、20年先を見込んでとい

うのも大事なので、ぜひ帯広でもそういうものがあるという事で紹介していただき、男女共同参画を市民の中でも意識チェックをして学ぶ機会をもっていく事が大事だと思います。

D 会長 特に後半の意識調査、勉強会は実現したいと思っていますので皆様方にもご賛同いただけたらと思います。外部から先生をお招きするのもいいと思いますが、この委員の中から講師が現れてもいいと思っております。Bさんとか、Jさんのお話はしっかり聞いてみたいと思います。

B 委員 世代間の格差は当然ありますから「こうじゃないか。」という感じだけでなくきちんと根拠のため意識調査をした方がいいと思います。市の男女共同参画の意識調査を2回ほどしたのを見ましたが、何処にでもあるような調査なので調査のそのものを精査する必要があると思います。根拠があつていったほうが、男女共同参画なんて知らないという市議もいる訳ですから、そういう人を説得する為には、「こういう意識では将来こういう問題が起きてきます。」という事が判るように取り組んで市民会議からお話すると議員も納得すると思う。帯広市の統計をみますと、全国では女の人は働き続けた方がいいと男女増えてきているのに帯広市は逆です。前回の調査ではいったん辞めた方がいいという方が多かったです。登別では対面で調査したようです。16万都市の帯広市では無理なので別の方法を考えなければならないでしょう。デートDVの話は皆さんが思っているより深刻に受けとってもらわないと高校生段階では遅すぎる位です。闇から闇に葬られている事実の方がたくさんあるのでもう少し早い時期がいい。中学生のうちにやった方がいいと思う。高校になって急にカルチャーショックみたいにはねちゃう子もいるし、親が深刻に受け止めて無い事実もある。

J 委員 毎年デートDVのファシリテーターとしてのフォローアップ講座がありまして、今年はデートDVというのは家庭教育の中で定着しつつあるという考え方がありました。それはもっともだと思ったのはある高校の一つの学年で250名のアンケートをとった時に男女共同、平等の考え方で4割くらいが女性は子供が生まれたら仕事を辞めた方がいいとか、従っていく方がいいとか、そういう意識が半数近くあったことからです。学校でそういう教育はされてないはずなので、家庭での関わり方が大事になってくる。そこを見直しましょうという事です。デートDVというテーマの中でも色々な方向性があつて力と支配の構図も成り立って、いじめ、虐待にもつながり、セクハラ、パワハラにもつながっていきます。私達大人がまず知らないといくら子供たちに教育しても2次的、3次的被害が実際に起きてしまいます。デートDVの被害にあつた女性を保護するとき「女性に隙があつたんじゃないか。」と言われたと、実際被害にあつた女性から聞いた事があります。言われて傷つき学校に話したら「過ぎた事だから忘れなさい。」と言われたらしい。警察に相談したら男の警察官が対応して苦しかったという2次3次被害もあります。デートDVの講座を行うといっても大人向けにも考えていかなければならない問題だと思います。ただ、先程いった様にデートDVという躊躇というか抵抗も世間にはある。違う角度から話を進めると、問題が起きた時、「世の中は生きやすいですか。」という話しになる。実際学生の中にも平等の概念が薄い学生もいますのでぜひ、短大でも一度講座をやりたいです。女性の学生も多いと聞いています。

D 会長 共学ですが、女性の方が圧倒的に多いです。最近では社会人の学生が増えましたので、講義で云ったりしますが、ピンと来ない学生も多い。けれども社会人の学生は比較的しっかり受け止めて聴いてくれます。社会人の方が真剣に前で聞いているのを見て、普段真剣に聞いていない学生たちがデートDVって何だとか関心を持ち始めていますがまだ時間がかかると思っています。ただ、様々な世代の人と交流があると学生の為にもいいと思います。同じ事を先生が言っても聞いてくれなくても、社会人学生の方が云うと「ああ、そうか。」と聞く耳を持っています。この会議で出来る事を皆さんで考えていく必要があると思います。アンケート調査もそうですが勉強会、研修会、ワークショップも含め、出来る事があればやりたいと思います。今の体制でどこまで我々が取り組んでいけるか事務局と良く相談しながら調整したいと思います。ほかに何か、情報共有しておいた方がいいとか、伺っておきたい事はありますか。

B 委員 お願いですが推進員で活動している出前講座というのがありまして、「男女平等だと思っていたけど違っていたのね。」という気づきを促すような30分程度の朗読劇を実施しています。受皿を探していますのでぜひ呼んで下さい。

B 委員 「男女平等だ。」と思っている人や「女の人を差別したことが無い。」と断言する人ほど怪しいもので、そういう人がたくさんいます。カスタネットを10年ほどボランティアで編集していますが、なかなか読まれないという悩みがあります。ぜひ、みなさんにも読んでもらいたいというお願いです。

D 会長 カスタネットの20号に私も載っていますのでぜひ、よろしくお願いします。音更の短大で出来ればぜひ、出前講座をお願いします。

B 委員 課の方に言ってください。ボランティアですが推進員と一緒にやってくれる人がいればなお歓迎です。男の人でも歓迎なのですが。

D 会長 そろそろ時間になりましたので副会長、何かありましたら。

P 副会長 最近気になったことで、羽田空港のオープンの時、沢山の人がテープカットに並んでいましたが女性が一人もいなかった。どこか大きなオープンときも男性ばかりで、非常に淋しい思いをしました。利用者をも女性が多いのに。帯広市でテープカットがある時はぜひ女性を入れてほしいと思っていました。今日は色々なお話を聴けて参考になりました。

D 会長 私どものこういった意見を市の関係部課にお知らせいただきまして男女共同参画を進めていただきたいと思います。それでは、議題を締めさせていただきます、事務局から連絡事項ありましたらお願いします。

事務局 今年度はこの第2回の会議をもちまして締めさせていただきます。皆様のご意見は庁内の推進委員会に報告して整理させていただきます。明年度はもう少し早い時期に開催するな

ど、研修等の話しも検討させていただきたいと思います。来年は2回くらいの開催と考えておりますのでご協力お願いします。議事録につきましては後日送付致しますので、訂正等ありましたらご連絡いただきたいと思います。

D 会長 帯広市内で男女共同参画に関する事業が行われた場合、例えば、何処かの団体で講師を呼んでとかちプラザで講演があるという時、後援という形で帯広市男女共同参画市民会議の名称を使うことが出来るのかが1点目です。2点目は、せっかく19名の委員が集まりましたので、機会がありましたら皆で食事をすることは出来ますか。幹事は私がしますので。個人情報のある事もありますので、各委員に発送等のお手伝いはしていただけますか。

L 委員 研修会か、何かの会議の後になると話題にもなりますね。

D 会長 今年度の会議はこれで終了ですので、研修会を自主的にやる場合、名前を使ってもいいのでしょうか、2点質問なのですが。

事務局 1点目はこの場で即答できかねますので、調整してご連絡したいと思います。2点目は市民会議は年2回とご案内させていただいて委員を受けていただいていますので、例えば1時間程度の研修も場合によってはあると考えております。野村委員がいわれたことも含めまして市民会議の活動の一環として位置づけながら、発送のお手伝いも出来ると思います。

D 会長 そういう事ですのでぜひ、皆さん楽しみにしてして下さい。これもご縁ですのでこの市民会議でのつながりをこれからも大切にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。長時間にわたったの会議、どうもお疲れさまでした。以上をもちまして終了させていただきます。